

公益財団法人 8020 推進財団

平成 26 年度 歯科保健活動事業助成交付事業報告書

1. 事業名：重度要介護高齢者に対する摂食支援カンファレンスと多職種への連携啓蒙活動

2. 申請者：公益社団法人 東京都町田市歯科医師会

2. 実施組織：公益社団法人 東京都町田市歯科医師会

日本歯科大学付属病院 口腔リハビリテーションセンター

4. 事業の概要：

①特別養護老人ホームに入居している、摂食嚥下機能の著しく低下している重度要介護高齢者に対し、嚥下内視鏡等を用いた誤嚥性肺炎の診断を行い、適切な歯科治療、摂食嚥下機能訓練、摂食支援を多職種を交えて行うことを図る。

②期待される成果として、欠損部の咬合回復、摂食可能な摂食形態の変更、高カロリー食の提供などの摂食支援を行うことで、結果として要介護高齢者の体重増加、免疫力を向上させ栄養改善を図り、低栄養の改善、誤嚥性肺炎の予防と QOL の向上が期待される。

5. 事業内容：

①毎月 1 回、特別養護老人ホームにおいて、歯科医師、医師、歯科衛生士、看護師、栄養士、ヘルパー、施設職員が集まり、摂食嚥下機能の低下している重度要介護高齢者に、嚥下内視鏡等を用いて現状の診断を行い、個々の改善目標を設定、討論を行う。その後、摂食嚥下リハビリテーション、臼歯部咬合回復、摂食可能な摂食形態の変更、高カロリー食の提供などの摂食支援を多職種の共通の認識のもとに行う。

6. 実施後の評価：

入居者に対して歯科医師会会員による毎月 6 回の歯科訪問診療、毎月 12 回の歯科衛生士による口腔ケア、毎月 1 回の多職種との摂食嚥下カンファレンスを実施した。

多職種との合同摂食嚥下カンファレンスは計 12 回開催され、摂食嚥下が困難な入居者に対しての摂食カンファレンス実施人数は第 1 回目 6 名、2 回目 6 名、3 回目 5 名、4 回目 6 名、5 回目 7 名、6 回目 5 名、7 回目 6 名、8 回目 5 名、9 回目 7 名、10 回目 8 名、11 回目 10 名、12 回目 14 名であった。 歯科訪問診療と口腔ケア、摂食支援カンファレンスを行った結果、臼歯部咬合の維持、

入居者の歯周病予防、また入居者の栄養状態の変化を多職種と討議することにより、低栄養に陥ることを事前に防ぐことができ、誤嚥性肺炎の予防改善と QOL の向上を図ることが出来た。